

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究に既存試料・情報を提供する機関として参加しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 自己免疫疾患における免疫複合体研究

[研究協力者] 長崎医療センター 臨床研究センター 非常勤医師 中村 稔

[研究の背景]

自己免疫疾患では自己のタンパク質に対する抗体によって体内で抗原-抗体複合体(免疫複合体)が形成され、増加した免疫複合体が沈着した組織で炎症を起こすとされています。しかし、多くの疾患でどのタンパク質が抗体の標的となっているか明らかになっておらず、根治的な治療法も開発されていません。一方、免疫複合体はそれぞれの疾患や症状によって量、大きさ、構成されるタンパク質が異なることが報告されています。

[研究の目的]

本研究では、様々な自己免疫疾患の血清中の免疫複合体の特徴を調べ、それぞれの疾患で免疫複合体がどのように病態に関わっているかを明らかにします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

原発性胆汁性胆管炎の患者さんで、2020年9月29日から開始の国立病院機構共同臨床研究令和2年度NHOネットワーク共同研究に同意いただいた方

●研究期間：研究機関長の許可日 ～ 2030年3月31日

●利用する試料、カルテ情報

試料：血清

カルテ情報：性別、年齢、既往歴、薬剤歴、家族歴、症状、検査所見(血算、血液分画、血液像、凝固系、AST、ALT、Bil、GTP、BUN、CK、Alb、GRF、Col、Na、K、Cl、Ca、BS、HCO₃⁻、アンモニア、IgG、IgA、IgM、補体、抗体検査結果)

●試料や情報の管理

血清は、検体を測定する機関である長崎大学医歯薬総合研究科に配送にて提出し、測定されます。情報は、紙媒体あるいはインターネットを介して提出されます。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

- 研究代表者（研究の全体の責任者）：長崎大学大学院医歯薬総合研究科 相原 希美
- その他の共同研究機関：鳥取大学医学部附属病院

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、使用します。

試料や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター
臨床研究センター 中村 稔
電話番号：0957-52-3121(代表)